



顧客

MIZUHO BANK

課題

Mizuho Bank は世界貿易センターへの 9 月 11 日同時多発テロ攻撃で破壊された、市場分析基幹システムを再構築するために必要な相互運用性を備えたデータ接続技術が必要としていました。

解決策

ODBC 用 DataDirect の活用により、Mizuho Bank は多数の異種プラットフォームとデータベースにわたるシームレスな統合を実現しました。

メリット

多額の費用がかかる統合手法やインフラの費用を削減。データ接続要素はシステムを超えて動作し、実装に多くの開発時間を必要としません。優れたパフォーマンスと簡潔さ、使いやすさと容易なメンテナンスを実現。

市場リアルタイムデータへのアクセスに対する異種技術を統合

Mizuho Bank は東京に本社を置き、日本での小売事業に加え、ロンドン、パリ、香港、ロサンゼルス、シカゴ、シンガポール、ニューヨークを含む全世界で大規模な法人事業を展開しています。法人顧客は、仲介業者やゼネラルモーターズ、トヨタなどの大企業を含む、外国為替取引を行うあらゆる企業です。

Mizuho Bank の主要業務システムの一つは、銀行のアナリストや経営陣に主要な金融市場データを提供するシステムです。このアプリケーションは、銀行の取引やロイター通信社、ブルームバーグなどの大手提供者からのあらゆる種類の市場データに対し、リアルタイムでのアクセスを実現します。Mizuho Bank は、銀行への利益を最大限に拡大しつつリスクを最小限に抑えるための分析や意思決定を行うため、これらのデータを活用しています。

これがニューヨークオフィスが入居していた世界貿易センタービルへの 9.11 同時多発テロ攻撃の後、Mizuho Bank が再構築しなければならなかったシステムの一つです。このシステムは、統括責任者兼リスク管理サービスグループ部門長の Sanjay Nagaraja 氏が監督しています。

リスク管理部門は、投機家の活動を監視し、銀行へのリスクを制御するため報酬比率を熟知する責任を負っています。例えば市場が予想外の方向に向かった場合、銀行への悪影響を最小限に抑えます。

あらゆるケースにおいて、市場データと取引データを取得してモデルに入力し、銀行にとってのリスクを測る分析データに出力します。また、リスク管理グループは連邦指令の積極的な遵守を支援しています。

統合に多額の費用がかかる可能性

このようなシステムの最大の課題の一つは、データが多様なデータソースとプラットフォームから入ってくるということです。分析のためデータを一つのプラットフォームに統合するために必要なインフラを提供するには、多額の費用がかかる場合があります。迅速にこのアプリケーションを再構築するため、Mizuho Bank は必要な相互運用性を備えたデータ接続技術を選択する必要性がありました。

分析のための単一プラットフォーム

Mizuho Bank は分析のため、これらの異種データソースとプラットフォームから全てのデータを単一プラットフォームに集めるため、ODBC 用 DataDirect と DDE(動的データ交換)を使用しています。1 週間ほどでアプリケーションのデータベース接続を実装できました。

リスク管理アプリケーションは、銀行の利益性を最大限に拡大するため計測可能リスクの測定を提供します。さらに、Mizuho Bank が連邦準備銀行の規則、規定を遵守することを支援します。このアプリケーションは、C、C++、固有の DBMS コードを含む様々な言語で構築されています。フロントエンドは Sun の Unix プラットフォームで稼動する XWindows システムと、Windows プラットフォームで稼動する Visual Basic で構築されています。このアプリケーションは、銀行の取引トランザクションと、ドル円相場や国債価格などの市場データから生データを取り出します。銀行のほとんどの主要アプリケーションは XWindows システム上で稼動していますが、これらもまた Microsoft 製です。

ODBC 用 DataDirect と SequeLink ソケットを使用し、データは分析のため異種プラットフォームとデータソースから、リアルタイムで単一プラットフォームに集められます。市場データは SQL Server に格納され、取引データは Microsoft Access に格納されます。

ODBC 用 DataDirect は、Mizuho Bank のアナリストや経営陣がデータにリアルタイムでアクセスできるように、これらのデータソースからデータを蓄積。Oracle に出力します。

技術統合への懸念解消

Nagaraja 氏は DataDirect ドライバ使用の利点をこのように要約しました。

「Mizuho Bank は ODBC 用 DataDirect により、多数の異種プラットフォームとデータベースにわたるシームレスな統合を実現しました。DataDirect 技術がシームレスな統合をするため、我々は技術統合について懸念する必要がありません。また、全く新しいプラットフォームで動作する新しい技術があれば、全ての統合を支援する ODBC 用 DataDirect のような製品があることを我々は知っているため、統合の方法を気にせず迅速に導入できます。統合手法の費用や面倒な問題なく、我々は個々の技術のメリットを活用できるのです。」

彼らは以前、必要としていたデータベース接続を提供するためデータベース固有の製品を使用していましたが、パフォーマンスやサポートに必要なインフラへの出費に不満を抱えていました。

Nagaraja 氏によると、「DataDirect により優れたパフォーマンスに加えて、簡潔さ、使いやすさ、メンテナンスのしやすさが実現しました。」

また彼は、他製品と比較すると、パフォーマンス効果は 58% 向上、また必要とされる統合が少なかったため、費用効果は 35% 向上したと述べました。

Mizuho Bank の顧客は、銀行が投資利益を最大化できた時に利益を享受します。それにはこのアプリケーションが極めて重要な役割を果たします。また、Mizuho Bank は Progress DataDirect で実現したように、IT 投資利益を最大化できた時利益を享受します。Nagaraja 氏は、この銀行が新しいビジネス目標や機会が生じるにつれて、このアプリケーションと Progress DataDirect の利用を拡大するようになると予測しています。

(米国Progress社Web掲載の事例の日本語抄訳です。) Progress、DataDirectは、商標、もしくはProgress Software Corporation
または、アメリカや他国のProgress Software Corporation関連会社や支社の登録商標です。本文書の他の標識は、所有者の異なる商
標である可能性があります。仕様は予告なく変更されることがあります。

© 2017 Progress Software Corporation. 著作権はProgress Software Corporationに帰属します。

All rights reserved. 無断複写・転載を禁じます。

株式会社アシスト

<https://www.ashisuto.co.jp/>

E-Mail : progress@ashisuto.co.jp

